

〈専門領域名〉

救急科

専門研修 プログラム名	川崎医科大学附属病院救急科専門研修プログラム												
連携施設群 (連携施設一覧)	岡山大学病院高度救命救急センター、岡山赤十字病院救命救急センター、津山中央病院救命救急センター、倉敷中央病院、川崎医科大学総合医療センター、岡山中央病院、岡山済生会総合病院、岡山市立市民病院、岡山旭東病院、玉島第一病院、岡山東部脳神経外科病院、金田病院、聖路加国際病院、国立成育医療研究センター、鏡野町国民健康保険病院、美作市立大原病院、成羽病院、渡辺病院、湯原温泉病院、水島中央病院												
募集定員数	各年次 6 名						研修期間	3年間					
専門研修プログラムの概略	1. 専門研修プログラムの内容（概略）												
	岡山県には高度救命救急センターが2病院、救命救急センターが3病院あり、それぞれが、特色を持って機能しています。各救命救急センターは、救急科領域専門医研修において基幹病院となる能力を保持していますが、単独の病院で救急科専門医にとって必要な全ての要素を高いレベルで経験、教育することはできません。本プログラムでは当院を基幹病院とし、救命救急センター5施設と、地域で救急科専門医を中心とし、救急医療に貢献している諸病院が連携病院となります。さらに日本有数の教育病院である聖路加国際病院が連携病院に加わることで、地方都市での研修だけでなく、大都市圏で豊富なER症例を経験することができます。また、国立成育医療研究センターが連携病院に入り、小児救急および小児集中治療についても日本でトップクラスの診療を経験し教育を受けることができます。また、地域医療を希望する専攻医のために、へき地医療拠点病院の指定を受けている5病院を連携病院に加え。これにより、専攻医に可能な限りの自由度、多くの選択肢を提供することで多様な要望にきめ細かく、高いレベルで答えることができます。2.にスケジュール例を示しますが、基幹病院6ヶ月以上、地域研修3ヶ月以上のみを必修とした自由選択コースもあります。												
	2. 当専門研修プログラムの研修スケジュール												
	病院種類	病院名			1年目			2年目			3年目		
	基幹病院	川崎医科大学附属病院			A								
					B								
					C								
	連携救命センター	岡山大学病院 岡山赤十字病院 津山中央病院 倉敷中央病院			D								
					E								
	連携総合病院	川崎医科大学総合医療センター 岡山済生会総合病院 岡山市立市民病院			C								
連携地域病院	岡山中央病院 岡山旭東病院			B									
				A									
	玉島第一病院 金田病院			D									
C													
県外連携病院	聖路加国際病院			ER枠 6ヶ月)									
	国立成育医療研究センター			P ICU研修 6ヶ月)									
へき地医療拠点病院 (地域)	鏡野町国民健康保険病院			選択)									
	美作市立大原病院			選択)									
	高梁市国民健康保険成羽病院			選択)									
	医療法人忠誠会渡辺病院			選択)									
	真庭市国民健康保険湯原温泉病院			選択)									
専門医に必要な要件の概略	・経験すべき疾患・病態、経験すべき診察・検査等、経験すべき手術・処置等 (参照URL) http://www.jaam.jp/html/senmoni/doc_kikou/kikou_curriculum.xlsx ・地域医療の経験(病診・病病連携、地域包括ケア、在宅医療など) 地域研修3ヶ月以上 ・学術活動 筆頭者として少なくとも1回の専門医機構研修委員会が認める救急科領域の学会で発表。 また、筆頭者として少なくとも1編の論文発表を行うことも必要。 ※詳細については日本救急医学会HP参照 http://www.jaam.jp/html/senmoni/senmoni_kikou.htm												
プログラム 統括責任者	ふりがな	しいの やすかず			氏名	椎野 泰和			所属・役職	救急科・診療部長(教授)			
プログラム 担当者	ふりがな	しいの やすかず			氏名	椎野 泰和			所属・役職	救急科・診療部長(教授)			
問合せ先	Tel: (086)462-1111(代表)(内線)25511 E-mail: shiino@med.kawasaki-m.ac.jp								(部署名) 救急医学教室				